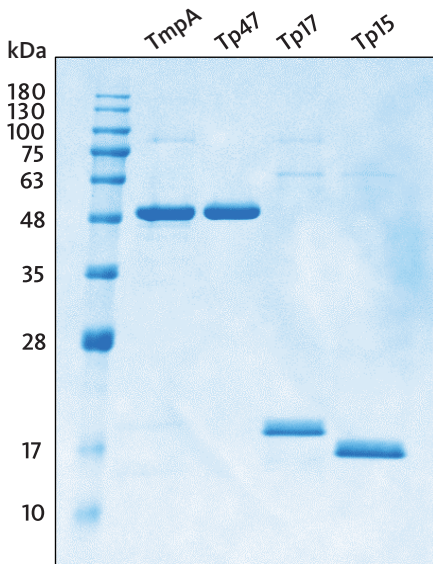


ProCube™ アプリケーションノート

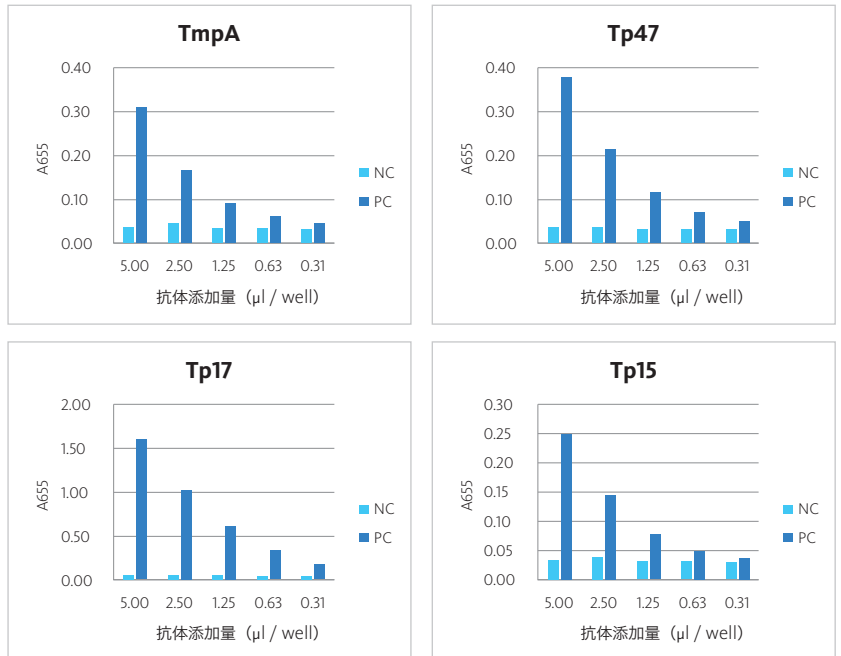
No.30 梅毒トレポーマ抗原タンパク質の生産

梅毒は梅毒トレポーマ (*Treponema pallidum*) によって発症する感染症であり、近年、その患者数の増加が報告されています。梅毒の検査にはSTS法(梅毒脂質抗体検出法)とTP法(トレポネーマ・パリダム抗体検出法)の2種類がありますが、このうち、TP法は梅毒トレポーマに対する特異的な抗体の検出を行う方法であり、梅毒の確定診断に重要な検査方法です。今回、カイコーバキュロウイルス発現系を用いてTP法に用いられる梅毒トレポーマ由来の抗原タンパク質を調製し、臨床検査で用いられている標準抗体との反応性についてELISAで検討を行いました。



・カイコーバキュロウイルス発現系を用いて、上記4種類(TmpA, Tp47, Tp17, Tp15)の抗原タンパク質を調製

図1 精製梅毒トレポーマ抗原タンパク質



・各抗原タンパク質を100ng/wellで固定化
・一次抗体としてコントロール抗体、二次抗体としてHRP標識抗ヒト抗体を使用

NC : 陰性コントロール
PC : 陽性コントロール

図2 抗体に対する反応性解析

作製した4種類の梅毒トレポーマ抗原タンパク質はいずれも標準抗体との反応性を示した。

ProCube™ についてのお問い合わせ : <http://procube.sysmex.co.jp>

E-mail procube.japan@sysmex.co.jp



製造販売元

シスメックス株式会社

本 社 神戸市中央区臨浜海岸通1-5-1 〒651-0073

(お問い合わせ先)

クリニカルインベーション本部 神戸市西区高塚台4-4-4 〒651-2271 Tel 078-991-2367 Fax 078-992-3284

www.sysmex.co.jp